

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成30年度)

2. 分野別状況(2)地域活性化総合特区 ①グリーン・イノベーション分野(7/7)

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
たたらの里山再生特区(雲南市)	3.4	3.3	3.5	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・里山の資源を活用し、コミュニティビジネスの発展やこれらを通じての町の活性化を目指した多面的な取り組みであり、それぞれの目標に対して熱心な取り組みのあることが読み取れる。 ・交流人口や関係人口の増加に向け、真摯に取り組んでいる。特に関係人口増加に向けて、雲南市チャレンジ推進条例制定にもとづく施策への継続した取り組みが評価される。 ・街づくり活動への参画に関しては、そのクオリティを評価できるような指標の検討と、クオリティを上げていく試みが必要とされる。 ・木質バイオマス等の里山資源を地域再生につなげる新たなアイデア、モデル提案を促す支援の取り組みが期待される。 ・達成が難しい評価指標が含まれており、目標達成はできていないが、地域課題解決に向けて地域特性を活かした重要な取組を行っている。 ・保安林の伐採の特例措置、農地取得にかかる要件緩和等積極的な規制緩和の検討を進めており、政策取組みの効果が発現することを期待している。